

ホーム職員研修について

ニコニコホームとショートステイどんたくでは、月に1回常勤・嘱託職員が集まり、少し変わった趣向の「職員研修」を開いています。この研修ではまず、職員の「スピーチ」から始まります。どんなスピーチをするのかと
いったら…

・趣味・好きな食べ物・得意料理・好きな言葉、大事にしている言葉・尊敬している人・現在の夢・好きな歌
(歌詞など)・好きなマンガ・一番最近の休日の過ごし方・夏の思い出・フリートーク…

…等々をこれまで紹介してきました。職員のスピーチを聞いたときに、「この人には実はこんな趣味があったんだ！」「この人のこういう考え、私も一緒だ！」等々、今まで知らなかったその人の新しい一面や意外な一面を発見することができます。そうすると、その人に対するイメージがガラリと変わったり、自分との共通点が分かることでより親近感がわいてきたりします。その結果、日々のコミュニケーションも円滑になるなどの効果が現れてきます。加えて大勢の前でスピーチをすることにより、限られた時間の中で自分の考えをまとめて言語化するスキルの向上にも繋がります。

スピーチを終えると、次にメインの研修へと移っていきます。メインの研修では、YOUTUBEの動画を鑑賞し、その内容に沿ったテーマで話し合いをします。鑑賞する動画はバリエーションに富んでおり、「話し方の極意 心を動かす編 WHY(なぜ)から始める」という動画や、オリエンタルラジオ中田敦彦さんが「アドラーの嫌われる勇気」を解説した動画など様々なテーマを扱います。鑑賞後の流れとしては、例えば「アドラーの嫌われる勇気」の解説動画を鑑賞した場合、鑑賞後に内容についての感想を話し合い、その後「どれだけ日々他人の目を気にしていますか？」という質問にひとりずつ答えて意見を共有する、という具合に進んでいきます。動画を観ることでストレスの軽減の仕方や円滑な人間関係の構築法、相手の心を動かす話し方など、そんなやり方や考え方もあったんだと新たに学ぶことが多く、そしてそれを職員同士で話し合うことにより、より動画の内容を深く理解することに繋がっていきます。

この職員研修では、「スピーチ」で職員の知らなかった一面を知ることが出来たり、動画鑑賞により様々な考え方や価値観に触れることができます。ニコニコハウスの理念には次のような一文があります。

『ニコニコハウスは、障害を持つ人も持たない人も、互いの人格を尊重しつつ、共に働き、助け合って、それぞれの力を十分に活かしていける場でありたいと願っています。』

この理念にもあるように、その人その人の個々の違いを認め合って共に歩むということが大切であると思います。そのためには自分自身が多種多様な考え方や価値観に触れ学んでいくこともとても重要なことです。今後もこの職員研修を通して、皆で楽しみながら学んでいければと思います。

ニコニコホーム 世話人 楠本悠作